

# 公民館だより

良 57年 11月

## 地域ぐるみで

### 青少年の健全育成を

館長 藤本秀雄

京都府が青少年の健全育成に関する条例を施行してから、一年半たちました。青少年を取り巻く社会環境はよくなったでしょうか。家庭のしつけは怠っていませんか。たくましい青少年の育成がなされていきますか。私たちは今一度反省してみたいと思います。

家庭は愛情と信頼感をほぐくみ、基礎的な生活習慣やしつけをはじめ、社会生活のルールを身につけるところです。親はその責任を自覚し過保護や過干渉や放任にならず、子供の発達段階に応じたしつけをせねばなりません。

青少年問題は大人の責任であり、地域ぐるみで対応しなければなりません。地域社会の環境条件が青少年の成長に大きな影響を与えます。地域の私たち大人は青少年の生活環境

を整える責任があります。地域社会でのふれ合いを大切にし、他人の子供も愛情をもって指導できるようになりたいものです。あいさつ運動や声かけ運動を続けていきましょう。たくましい青少年を育てるために地域社会の活動や団体活動に進んで参加して、社会の一員として身につけねばならない規律や協同精神を学び、豊かな人間性や社会連帯意識も養いましょう。

## 報告

主事 平間 克己

(一) 四部対抗球技大会 八月十四日(土)

毎年八月十五日に開催していたが、今年宮津市主催で灯籠流し行事として軟式野球大会が行われる事となり、この大会に由良野球クラブが参加するため、止む得ず一日繰りあげ八月十四日に開催となった。

## 成績発表

(一) 青年男子軟式野球

優勝 一部

準優勝 二部

(2) 一般男子ソフトボール

優勝 四部

準優勝 三部

今年の優勝チームは、野球・ソフト共に去年のチームと同じで、その勝敗は野球は去年と入れ替り第一部が優勝、ソフトは去年に引き続き第四部の連勝となった。

(二) 盆踊り 八月二十三日(月)

今年の盆踊りは幼稚園々庭で行われた。参加者は去年と同じく二〇〇人(見物も含む)であった。毎年ながら老友会や婦人会の方々の先導で始まった。歌が切れると踊りの輪が崩れやすいので、「乗平踊り」に終始した。それも正味一時間で終わった。私たちの先祖が苦しい生活の中で残してくれた盆踊りが一時間で終るのは、逆り寂しい気がする。

私たちはいつ迄も大切に守り、引き継いで行きたいと思えます。

なお、来年は由良の里センター前広場で盆踊りを予定です。より多くのご参加をお願いします。

(三) 史跡めぐり 九月十一日(土)

史跡めぐりも、今年で六回目となりました。毎回のコース設定については、由良の歴史を掘る会々員であり、文化遺跡等に造詣の深い中西俊夫氏にお頼りしています。また、同氏は前もって予定の現地を視察され、綿密な調査、交渉、プリント作成並びに補足説明等ご苦労をおかけしています。

尚、毎年八月の終りの日曜日となっていた旭マイクロボスの都合により今年は土曜日に決定した結果、折角希望されながら不参加の方もあり誠に申し訳ありませんでした。来年からは、日曜日実現に努力したいと思えます。

(四) 由良農林漁業体験実習館竣工式 十月十四日(木)

(五) ビアノ・エレクトーン発表会 十月二十一日(日)

今年も文化祭行事として、公民館協賛により由良小学校校体育館において、坂下文字、中西玲子両先生の門下生の発表会が、両親や關心を持つ人々の見守る中で開催されました。僅か一か年の経過の中で、外国の難曲を見事に演奏して行く門下生の様子は、誠に長足の進歩そのものであり感銘しました。これも偏に両先生の好指導の賜であります。

体験実習館竣工にあたり

由良自治連合会長 岸田 幸吉

新農業構造改善事業の一環として、農林漁業体験実習館が十月十五日からオープンすることになりました。新農業構造改善事業と申しますのは、私たちが今まで通りの農林漁業を続けていると、経営のジリ貧は増大し、行きづまりは解消出来ません。そこで新しい考え方を農林漁業に取り入れ、経営の合理化と改善をはかるための事業として、国や府や市が財政援助をするこゝとになつてゐることは皆様すでに存知の通りであります。

今回宮津市の指導のもとに、由良地区がこの事業に取り組みました目的は、自然を活かし観光と結びつけた農業経営を実現させ、活力ある由良をつくることであり、また、

体験実習館は、学童を中心に農業の過去を知り、生活の基盤として重要な役割を担っている農業が、社会発展のための近代化に貢献しているながら、自らの近代化が遅れ取りのこされた有様を体験を通じて勉強していただくためにつくられました。

先日由良小学校の生徒さんに来ていただき、時間ではありましたが、わら細工や竹細工を中心に過去を知り、自然を見直し、現在にも通用し、活用出来るものが私たちの園りにたくさんあることを体験しながら勉強していただくことが出来ました。

新農業構造改善事業は、限られたわくがありまして、たくさんしたいことがありましたが、

融和と統合の場である、由良の里センター。創意工夫と思考の場である、体験実習館。

という拠点づくりは終りました。今後はこの立派な拠点を商輪として目的達成のため、勇気をもってあらゆる分野に参入せめていただき、活力ある新しい農業が生活基盤の中心として繁榮して行くことを期待して拙文を終わります。



由良 体験実習館

電話 (6)-0229

史跡めぐり

小谷 一郎

公民館主催の第六回史跡めぐりは、九月十一日予定どおり催されました。この日参加したのは藤本館長以下二十名、市教委のご協力で一クロボスを出していただき、午前九時由良の里センター前を出発、上杉から黒石峠を越えて上林に入り、

君尾山光明寺―生賣山城跡―上林山荘―倉―照福寺―安園寺―黒谷和紙会館

のコースで、午後五時三十分全員無事に由良へ帰って来ました。朝のうちは時折り雨が降ってどうなることかとあやぶみましたが、昼頃から晴れ間も見えるようになり、また、君尾山光明寺への道は峻しく、登山口から羊腸四キロ、まさに山岳修験の道、今更のようこの寺の歴史の古さを感ぜつつ山また山の連なる上林谷を眺望したものです。

丹後・丹波の山岳修験は、平安中期、既に三岳、赤山、青葉、大江から成相に連なる大きな規模で、七佛薬師の縁起に結ばれる麻呂子親王の鬼退治の説話とともに、独特のひろがりをもっていたことを思い合わせながら、

園家の仁王門を眺めました。

由良の如意寺も麻呂子親王創建の寺伝をもつており、矢張り大江山、青葉山につながる由良岳一帯を道場とする山岳修験の寺であり、たし、ただ、近世に入ってから辿った歴史の上で差があっただけかも知れないのです。そして、光明寺付近一帯をもつと時間をかけてくわしくさぐってみれば、修験道場としての証跡を、山の英知此処に見つけることができたりもしたと思えます。

中世城館の特徴を見せる生賣山城跡、石山跡、足利高氏生誕の伝承をもつ安園寺、平家落人の里と伝える黒谷の紙漉き、天気の良い日には、干板に張って並べられた和紙が陽に映えて美しく眺められるのですが、それが見られずに残念でした。

名	所在地	時代	備考
園家仁王門	由良	平安	
如意寺	由良	平安	
光明寺	由良	平安	
安園寺	由良	平安	
黒谷和紙会館	由良	現代	
生賣山城跡	由良	中世	
石山跡	由良	中世	
足利高氏生誕の伝承	由良	中世	
平家落人の里	由良	中世	
紙漉き	由良	中世	
干板	由良	現代	

市道	定額納付(五五)	南支那	支那	支那
・	木造敷地工率俵	南支那	支那	支那
・	定額納付	南支那	支那	支那
・	新本勧進帳	南支那	支那	支那
・	新本奉加帳	南支那	支那	支那

同和对策事業について

市道社会教育委員和田敬之助

同和对策事業が進み部落の環境改善などが行われますと、部落外の住民の間から「同和地区にばかりなせ予算をつぎこむのか」、「同和地区になせそんなに施策をする必要があるのか」という声がしばしば出されます。このような場合「逆差別」ということばが使われています。部落の住民が優遇されて、その他の住民が行政上で冷遇されているという受け取り方ですが、この考え方のなかに本人は死がつかないかも知れませんが、部落に対する差別意識がひそんでいくといわざるをえませぬ。同和对策が進む以前は、生活環境が劣り教育水準が低かった部落を見下し、気の毒がっていた人々にとって、自分たちより低い存

在がなくなることは優越感の根拠を失うことになりません。このような優越感の差別意識と表裏の関係にあるといえましょう。地方自治体の財政が豊かてなく同和予算の占める比重が大きくなると他の事業費が圧迫されるように見える所からも生れて来ます。

同和行政が何故必要かという点とその意義が住民全体に対して十分に理解されていなければ「逆差別」的な受け取り方を招く原因の一つになっていきますし、部落以外の住民の生活水準も一般的に決して高くないことが同和事業に対する疑問やねたみを生ずることになります。同和事業は部落だけのためでなくすべての住民への行政水準を高めることにならざることを考えるべきでしょう。

天ぷら油の廃油回収について

岡 良 婦 人 会

数年前合成洗剤による琵琶湖の汚染問題が社会問題となって以来、宮津市でも各事業所や家庭からの排水による海の汚染が取りざたされるようになりました。

このため宮津市婦人団体連絡協議会では、合成洗剤とともに汚染の原因となっている食用油の廃油の回収運動に乗り出しました。回収は、神戸の石けん業者に依頼して廃油一升につき粉石けん二〇〇グラムと交換してもらっており、毎年四回(三月、六月、九月、十二月)、日時はその都度支部長さんを通じてお知らせいたします。場所は、今年度は由良の豊センターの庭をお願いしております。由良地区の各家庭におかれましては、この回収運動にご協力いただきますようお願い申し上げます。



森林を育てよう

岸 田 六右衛門

世界に於ける製材・丸太の貿易に組込まれている半分は、日本向けに輸出されていますし、日本は木材消費量の七〇%を外材に依存しています。日本の住宅では九〇%以上が外材で賄われています。この様に日本は世界中から木材を買いあさって高い経済水準を保っています。この買いあさりぶりの一つを招

かしますと、インドネシアでは毎年四割と同じ位の面積の木が伐採されています。この中約九〇%は日本が買っています。現在では海産物より遙か興地で伐採され、後七、八年で皆伐されるといふ事です。植村後大徑木は、一〇〇年を経なければ伐れないけれど、伐採跡には殆んど植林されていざうです。三年後には丸太の輸出を全面禁止し製品輸出に切替えると決定したとの事です。日本の昭和五十五年一年間の木材の輸入先の主なもの、ソ聯六三〇万州、北米一四八七万州、南洋一九六五万州、ニュージーランド一三六万州等となっています。(以上の積は、五月十一日NHK教育テレビ「森喰い虫日本」から)

この様に世界中から木材を買いあさっています。一度輸入がストップした時は日本の現在の繁栄は根柢から覆される事でしょう。発展途上国は、石油の高騰により木を燃料として使いはじめたとの事、熱帯森林の消失も加速化されて日本への輸出も少なくなると思われます。日本列島は、七〇%の森林面積を占めています。

すが、これも輸入が止まればまたたく間に丸裸になります。

森林には、木材や紙を供給してくれる主目的の外、水を保全し調節するとか、空気を浄化するとか、土砂くずれを防ぐとか、動物を育てるとか、その他いろいろの機能をもっています。その他にも人間が快適に過ごすための限らない効用を待たず森林を育て守っているのは遺憾に悩む村々で主として高年令の人たちです。ここに問題があります。幸にも私たちの郷土由良では、私有林は勿論、財産正有林でも国との契約による官行造林や自営林等先人の残してくれた縁がうっせうと繁っています。現在の由良校舎もこの売却代金で立派な校舎が出来上りました。この森林を見ると、そこに血と汗のじんだ先祖のたゆみない努力によって現在の縁が保たれている事を忘れてはならないと思えます。

私たちの日常は、目ぐるましく変わる社会情勢に振り廻されて、ゆとりも考えられない生活の連続です。造林は長い年月と先行投資を必要としますが、それに報われるのは初めても子供でもなく孫の代になって初めて現

れるのです。早くに効果の現れない事は手掛り難いのも人情です。でも誰かがやらねばなりません。自分の誇山には出来る限り植林をして子供へ正派な縁の贈り物を残し、ゆとりを待ちたいものです。由良財産正管理会も先人の意を受け継ぎ出来るだけの努力をして後世の人たちに引き継いでゆく考えです。

毎年由良岳登山が公民館主催で行われますが、頂上近くの登山道の両側に広がる大きな植林は由良財産正の植林であり、地元民みんなの財産で、誇りであると共に手入れはみんなの務めです。植林をすることは、そしてその手入れは労多くして報い少ない仕事かも知れませんが、愛情を持って育てる時、木は素直に癒えてすくすくと育ってくれます。

郷土の山に縁を絶やさないため、年寄りから若い人へそして子供へ孫へと縁を伝えると共に心をこめて行きたいものです。

幼い時からティッシュを湯水の如く使っている今の子供に物を育てる楽しさを、そして物の有難味をきびしく教える上からも何事かの手だてがなされてもいいのではないのでしょうか。登山される方はいつも見てやっつけて下さい。

そして登山されない方も由良岳を見つめて下さい。素晴らしい成長してゆく木の姿を見るとき限らない希望と明日への力が湧いてくる事と思えます。

### バレエボール大会に参加して

川崎 美幸

去る十月三十一日宮崎市婦人バレエボール大会が開催され、私たち由良チームも参加しました。

最初は二位だったので今年こそは……と思いきや一回いきごんで試合にのみましました。しかし結果は、二試合とも一セットは取っていません。ながら接戦のすえ負けでしまいました。

練習不足のせいかなぁが、練習の時にはしないような凡ミスや、また、足が思うように動かせませんでした。

そして、あの時はこうしたらよかったですか、ああしたらよかったですか、反省すると頭の中ではわかっているのですが、実際ではその通りに行かず練習の積み重ねが大切な事を痛感

しました。

お忙しい中、多勢の皆様に来ていただきありがとうございます。また、来年に向けて頑張りたいと思えます。

今、私たちは毎週月曜と木曜の夜八時よりバレエボールサークルで練習しています。

現在サークルには、美男・美女が若干名集しみなながら練習しています。より多くの人来ていただききたいのです。

せんせんバレエボールをした事のない人でも、やさしく、おしえてくれます。体を動かす事が少なくなったこの頃、毎週来られなくても一週間に一回とか、二週間に一回でも皆さんと集しみなながら汗をかいてみませんか。お待ちしております。

参加者名

- 藤本 貴子 糸井 久枝 中西 巳
- 玉垣 泰子 田中 勝子 中西 幸代
- 折田 千鶴 中西 伸子 川崎 美幸

火を使う季節です  
火の用心 心で用心 目で用心

宮崎市消防局 由良分署